

令和4年度 宮古教育事務所経営計画

I 組織の基本目標及び主要項目

1 組織の基本目標

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る学校の新しい生活様式に対応した感染症対策を講じながら、児童生徒・教職員の健康・安全を最優先に考えつつ、次の6つを重点とします。

(1) 宮古がやるべき教育の推進

東日本大震災津波や台風10号・19号の被災経験を教訓とし、本県の未来を創造していく児童生徒を育成するために、新学習指導要領を踏まえた子どもたちの視点からの学びの充実・「いわての復興教育」の推進・GIGAスクール構想の実現、学びの場の復興の更なる推進を図ります。

(2) 安心して学べる環境づくり

児童生徒の心のサポート・いじめの早期発見と早期対応等、個に応じた生徒指導の充実を図り、学校が児童生徒にとって安全・安心な場所となるように環境づくりを支援します。

(3) 信頼される学校づくり

- ・教職員一人ひとりのコンプライアンス意識の醸成と行動規範の確保に努め、児童生徒・保護者・地域住民から信頼される学校づくりを支援します。
- ・職員の資質向上や組織体制の構築により、内部統制の推進を図り、適正な事務処理の確保に取り組みます。

(4) 働き方改革の推進

教育の質の向上と心身の健康を維持させるために、業務内容の精選や効率化を図る等「ムダの削減」を推進し、率先して働き方改革を推進します。

(5) 現場主義

学校や地域・市町村教育委員会・教育関係団体等の現状やニーズを的確に捉えて、きめ細かな教育の実践と教育環境の整備・充実を図るとともに、中・長期スパンを見据えた人材育成を推進します。

(6) 「地域とともにある学校づくり」への支援

「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、教育振興運動と連携したコミュニティ・スクールの推進による地域学校協働活動の充実に取り組みます。

今年度のキーワード

- 「相手意識」
- 「つなぐ」

2 主要項目

企画総務課	教 務 課			
	教職員担当	教育指導担当	保健体育担当	社会教育担当
○教育目標の達成に寄与する学校事務職員の育成	○学びの基盤づくりと人材育成	○岩手で、世界で活躍する人材の育成 ○確かな学力の育成	○豊かなスポーツライフに向けた学校体育の充実	○学校と家庭・地域との協働の推進
○学校事務職員の資質の向上	○コンプライアンス意識の醸成	○ICT活用の推進 ○豊かな心の育成	○健康教育の充実	○子育て支援や家庭教育支援の充実
○内部統制の推進による適正な事務処理の確立	○学校危機管理体制の確立と向上	○いじめ問題・不登校対策等への確かな対応 ○特別支援教育の推進	○適切な部活動体制の推進	○生涯にわたり学び続ける環境づくり ○次世代につなげる郷土芸能や文化財の継承